**３　今年度の研究について**

保健体育教科研究委員会の研究報告

１　研究主題（県学体研高等学校部会）

『豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる保健体育科学習のあり方

～「わかる・できる・かかわる」を実感させる楽しい授業を目指して～』

○平成２７年度の研究

「指導と評価の一体化」を定着させるために

２　研究の経緯

　　宮崎県高体連保健体育教科研究委員会では３か年計画で研究を進めている。今年度は『「指導と評価の一体化」を定着させるために』という研究の２年目に当たる。また、前年度に配布した「評価に関するポイント」リーフレットの活用状況も調査することにした。

３　研究の方法

　ア　リーフレットの活用状況に関しては各支部で意見を聞いてもらう形をとった。

　イ　評価補助簿は、原案を元に話し合いを重ね、いくつかのタイプを作成した。

４　研究の内容

ア　リーフレットの活用状況について

例えば日南・串間支部では７２％の先生方がリーフレットに目を通されているということがわかった。県全体として、積極的な活用はこれからだという様子はうかがえるが、豊富な内容をコンパクトに１枚にまとめたからこそ、多くの先生方が目を通してくださっているのではないかと思われる。

　イ　評価補助簿の作成について

　　①評価の４観点が入ったもの　②観察評価に特化したもの　③技能に特化したもの

　の３種類の補助簿を例として作成した。

**※今年度は県学体研高等学校部会において発表させて頂いたので、詳細についてはそちらのページをご覧ください。**